

令和7年度 第1回 四日市市下水道事業運営委員会

➤ 開催日時 令和8年1月28日(水) 10:00～11:30

➤ 開催場所 四日市市上下水道局 地下1階会議室

➤ 出席者

【委員】

| | | |
|-------|-------|--|
| 学識経験者 | 朝日 幸代 | |
| | 鶴田 利恵 | |
| | 石山 純 | |
| 市民代表 | 水谷 慎志 | |
| | 羽場 誓司 | |

【事務局】

| | | |
|-------|-------|-------------|
| 上下水道局 | 伴 光 | 上下水道事業管理者 |
| | 駒田 泰 | 管理部長 |
| | 中村 佳典 | 技術部長 |
| | 矢島 進一 | 政策推進監 |
| | 渡部 行成 | 経営企画課長 |
| | 伊藤 睦浩 | 下水維持課長 |
| | 稲毛 雄大 | 下水建設課長 |
| | 中野 文裕 | 施設課長 |
| | 青木 孝充 | 経営企画課副参事 |
| | 伊藤 斉 | 経営企画課水道財政係長 |
| | 追塩 壮司 | 経営企画課企画計画係長 |
| | 齋藤 高志 | 経営企画課水道財政係員 |
| | 小野 大志 | 経営企画課水道財政係員 |
| | 生川 恭平 | 経営企画課企画計画係員 |
| | 佐藤 佑哉 | 経営企画課企画計画係員 |
| | 石田 遼平 | 経営企画課企画計画係員 |

➤ 傍聴者 0名

➤ 配布資料

- ・事項書
- ・委員名簿
- ・席次表
- ・報告事項及び協議事項の資料

➤ 議事要旨

1. 開会

2. あいさつ

伴管理者より挨拶

3. 委員の紹介

山本委員、藤田委員の欠席を報告

4. 出席者の紹介

5. 委員長の選出

前任期から引き続き鶴田委員を委員長に選出

6. 議題

事務局より、報告事項「(1)令和7年9月12日の大雨について(2)下水道事業の経営状況について」及び協議事項「(3)四日市市上下水道事業運営委員会への改編について」の説明を行う。

<質疑・応答>

(1)令和7年9月12日の大雨について

【委員】

ハード対策とソフト対策が一体となった「流域治水」に取り組んでいただいていることがわかりました。

【委員】

中心市街地は西から東へ貯留管があるが、南北の貯留管は検討されていないのでしょうか。現状の貯留管を接続すれば負担を一箇所に集めることがなくなるのではないのでしょうか。

【事務局】

南北の貯留管は検討したことはありますが、四日市市の地勢上に合わないことや技術的に難しいことから採用されておりません。

【委員】

(仮称)新阿瀬知ポンプ場整備は令和13年度からの整備となっているが、老朽化している状況にありながら遅いのではないのでしょうか。

【事務局】

当初は令和13年度からでしたが、9月12日の雨を受けて工期を短縮できないか検討しているところです。用地に関しては現在居住している方々がいることから時間がかかるというのが現状です。迅速に進めることができるよう計画を練り直しているところです。

また、令和13年度からとなっていますが、現在は日永地区の六呂見調整池の整備を進めており、それが完了するのが概ね令和12年度頃となっています。年度毎の予算の平準化を行うことから調整池の整備が終わってからとなっております。

【委員】

大雨により大きな被害が生じたことから、周りから四日市市は大丈夫かと心配されることも多く、四日市市民のプライドが傷ついた。ハード整備もハザードマップの想定と同様に147mmで行うことは難しいのでしょうか。

【事務局】

ハード整備については、国の補助要件を満たす最大規模で行っており、これを超える整備を行う場合、市の財源の持ち出しが多くなってしまいます。現在は、その最大規模での整備に至っていないエリアに対して、工期短縮を図りながら、少しでも早く整備できるよう進めています。また、ハード整備は時間がかかるためソフト対策を組み合わせる被害の軽減に努めています。

【委員】

(仮称)新阿瀬知ポンプ場整備の事業費435億円の財源は国、市のどれくらいの配分でしょうか。

【事務局】

(仮称)新阿瀬知ポンプ場整備は国の採択を受け、半分は国の補助を受ける予定となります。残りの半分は、污水事業であれば下水道使用料で賄いますが、当該整備は雨水対策事業のため市税で賄います。

また、落合川排水路改良工事については国の補助を受けず市税のみで賄います。

【委員】

情報発信システムについて、高齢者や留学生など向けにはどのような課題がありますか。

【事務局】

ワンオペレーション情報配信システムは令和 3 年度から危機管理統括部で始めたものです。

高齢者においても、スマートフォンの普及率が上がってきているためアプリの登録を促していますが、利用が難しい方にむけて紙媒体と両方の手段で情報発信を行っていると考えております。

また、多言語化も全庁的な問題なので進めていく予定です。スマートフォンの翻訳機能も発達しているため、日本語が不自由な方が情報を逃さないよう導入について案内できるようにするのが大事だと考えております。

(2) 下水道事業の経営状況について

【委員】

埼玉県八潮市の道路陥没事故は、身近に起こり得る事故だと感じました。優先箇所を設定し、今後も速やかに対策を実施していただけることを知り、安心いたしました。

【委員】

管更生工法の長寿命化対策等の工夫により、使用料への影響をどう考えているか。

【事務局】

平成 30 年度に使用料改定を行ったことから、近年の物価高騰や人件費高騰の影響を受けても健全に経営することができております。使用料は 5 年おきに見直すことが一般的ではあるものの、現在は令和 10 年度までは料金改定の見込みはありません。また、令和 11 年度以降についても、今後の物価高騰等の影響次第ではありますが、現状で当面は問題ないものと考えております。

【委員】

人件費の高騰等による経費削減が、技術職員の育成に影響がでるのでしょうか。

【事務局】

土木技師の採用が厳しい中、在籍しているベテラン職員から技術力を継承し向上を図ることが重要なことだと考えています。

【委員】

収入と支出のバランスについて、(仮称)新阿瀬知ポンプ場整備事業の大きな建設費用があるにもかかわらず、下水道使用料の改定がないのはなぜでしょうか。

【事務局】

資料に示したグラフは汚水事業に係るものであり、(仮称)新阿瀬知ポンプ場整備事業は雨水対策事業です。(仮称)新阿瀬知ポンプ場整備は半分を国からの補助金で、残りを企業債で賄い、支出の平準化を図ります。

【委員】

特別重点調査について、対策が必要な優先箇所 0.24 kmは多いものでしょうか。

【事務局】

同規模の他都市と比較しても同程度であると感じております。

また、下水道総延長は 1400 kmで調査対象が 28.4 kmです。それらのうち対策が必要な優先箇所が 0.24 kmになります。

【委員】

資料の管更生工事の管の中に入れる材質は何ですか。

資料では柔らかいように見えるので水圧によっては破裂するのではないのでしょうか。

柔らかい素材でたわみや亀裂がある管に上手に入れることができるのでしょうか。

【事務局】

塩化ビニール系の材質です。汚水は圧力状態ではないことに加え、素材は柔らかい状態に入れて紫外線等で硬化させますので、破裂したという事象は聞いたことがありません。

また、材料を入れることができない状態の管であれば管更生工法は馴染まないため入れ替える工法を選択します。

(3)四日市市上下水道事業運営委員会への改編について

【委員】

物価等の上昇は、グラフで見ると驚くほどの高騰ぶりでした。水道料金の改定は、市民にこの現状を伝えることで値上げの必要性を理解してもらえないのでしょうか。

全体を通して、様々な取り組みが実施されていますが、いかに市民にこれらの情報を届けるかが重要だと思います。

例えば、止水版等の設置に係る補助制度は、広報紙に掲載されていたため、この制度のことを知ることができました。私は広報紙を読みますが、紙媒体や TV を必要とせず

SNS を中心にしている人が増えてきています。

ホームページに掲載しても、見に行ってくれる人はどれぐらいいるのでしょうか。ホームページに誘導するための仕掛けが必要です。

ソフト対策として、今後は従来の方法に加えて、新しい方法での情報発信を期待します。

<委員からの意見>

・雨水対策はハード面・ソフト面両面での対策が必要だと考える。引き続き市民の方々の安全安心のためにしっかり進めていただくとともに、本委員会にて報告等をお願いします。

・今後も厳しい経営状況は続くと思込まれるが、老朽化対策を確実に進めていただくとともに、財政状況も注視して今後の対応をお願いします。

・本格的な料金改定については今後の議論になっていくとご了解をお願いします。

7. その他

8. 閉会

以上